

報道資料

平成27年12月11日
株式会社トクヤマ
出光興産株式会社
中国電力株式会社

海外炭の共同輸送の実施について

株式会社トクヤマ（山口県周南市，代表取締役 社長執行役員：横田 浩），出光興産株式会社（東京都千代田区，代表取締役社長：月岡 隆）および中国電力株式会社（広島県広島市，取締役社長：苅田 知英）の3社は，以下のとおり，海外炭の共同輸送を実施しますのでお知らせいたします。3社が共同で海外炭を輸送するのは，今回が初めてとなります。

本共同輸送は，3社が8月に締結した「海外炭の共同輸送に向けた確認書」（平成27年8月5日発表「海外炭の共同輸送の実施に向けた3社合意について」）に基づき実施するものです。

3社が利用する石炭を共同輸送することにより物流コストの低減を図るとともに，大型船による共同輸送の本格運用を視野に，3社間での輸送量の調整や輸送船の選定といった運用上の手続きを確認することを目的としています。

【海外炭共同輸送の実施概要】

| | | | |
|------|-----------------------|---|-----------------|
| 積地 | オーストラリア・ニューキャッスル港 | | |
| 揚地 | 徳山下松港（徳山地区）周南バルクターミナル | | |
| 出発日 | 平成27年12月11日 | | |
| 到着時期 | 平成27年12月下旬（予定） | | |
| 輸送量 | 約8万トン | 内 | 出光興産，トクヤマ：約3万トン |
| | | 訳 | 中国電力：約5万トン |
| 輸送船 | 9万t級オーバーパナマックス船 | | |

以上

（添付）

参考資料：共同輸送に至った経緯と今後の取り組みについて

（問い合わせ先）

株式会社トクヤマ 経営企画室 広報・IRグループ TEL：03-6205-4832
出光興産株式会社 広報CSR室広報課 TEL：03-3213-3115
中国電力株式会社 広報部門 報道グループ TEL：082-544-2846

共同輸送に至った経緯と今後の取り組みについて

1. 共同輸送実施に至った経緯

平成23年5月に「徳山下松港・宇部港」が国土交通省の「国際バルク戦略港湾※」に選定された後、3社を含む港湾利用企業が主体となり設立した「山口県国際バルク戦略港湾連携協議会（以下「協議会」）」において、企業間連携による効率的な海外炭物流体制について検討を進めるなかで、このたびの共同輸送について3社の認識が一致し、本年8月5日の確認書締結を経て、実施に至ったものです。

※ 国際バルク戦略港湾

産業の国際競争力強化を目的として、バルク貨物（石炭、穀物など包装せずばら積みされる貨物）の大量輸送の実現とそれによる物流コストの低減に向け、国内の港を選定し集中的に整備するもの。

2. 今後の取り組み

今後、徳山下松港および宇部港が国際バルク戦略港湾として整備され、これまで以上に大量輸送が可能な大型船を利用できるようになることで、物流コストの低減とともに共同輸送の本格運用の実現性も高まるものと考えています。

3社においては、今回の取り組み以外にも、引き続き、協議会のメンバーと協調して、両港を活用した企業間連携を検討して参ります。



【輸送船：SAIYO号】